

## 第47号

# 社協職連協にゆ～す



発行：茨城県社会福祉協議会職員連絡協議会

令和5年12月25日 発行

## 第59回

### 関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

令和5年7月6日(木)、7日(金)の2日間にわたり、静岡県沼津市の静岡県総合コンベンション施設プラザヴェルデで開催された第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会へ久しぶりに参加しました。私自身は愛知での開催以来の参加でした。コロナ期間中は集合体の研修も控えていましたが、5類に分類されたことで今年は参加もし易かったです。久しぶりの他県や他市町村の職員との対面での会話はとても有意義でした。今回は「やっ茶おう！言っ茶おう！探し茶おう！～社協だもんでできること～」がメインテーマで、6つの分科会の中から茨城県が東京都と担当した『「相談を受けるってどうするの？」を改めて考えてみる～ひきこもりをテーマに～』へ参加してきました。相談支援の難しさやポイントなど改めて考えさせられる機会となりました。経験や知識が大事なとは言うまでもないですが、一番大切なことは、相手の気持ちを理解する行動だということ。人間は十人十色であり、性別、環境、考え方など同じ人は一人もいないということを念頭に置き、相手が何を考え、何をしたいかを常に考えられる相談者になりたいと感じました。

また、2日目の記念公演では、プロアスリートやスポーツと共同での社会貢献活動や地域復興（地域づくり）が実際に日本でもたくさん実例が出来ていることに驚きました。茨城の場合、県内にはプロスポーツの団体がいくつもあります。私の市町村にはないので難しいですが、プロと言う括りに囚われず、スポーツとの連携・協働を一つの事業として今後企画してみたいと思いました。



石岡市社協 関町 美紀子



## 社協職員初任・初級研修に参加して

本研修に参加したことで、社協としての地域でのあり方や今後の社協職員として求められる事、社会人としての基本的ビジネスマナーや先輩方の経験談等色々なことを学び知る機会となりました。

交流会や講義の合間などで他の市町村社協の色々な役職や経歴の方たちと業務について話す機会がありました。各市町村でどのような特色を活かしどのような事業を行っているのか、それぞれの事情や今後の課題について情報交換をすることも出来ました。また、趣味や地元の話等、業務以外のプライベートについても話すことができ、楽しい時間が過ごせました。

今後は、本研修で学んだことを基に資格の取得やよりよい地域づくりに励み、それぞれの地域で暮らす方々が安心して暮らせるまちづくりができる「地域のヒーロー」的な存在になれるよう努力をしていきたいと思いました。



かすみがうら市社協 関 直樹

## ★県南支部の活動紹介★

県南支部は、土浦市・石岡市・かすみがうら市・つくばみらい市の4市で構成され、会員数は120名です。

昨年度の交流会は会員同士の親睦と情報交換を目的として、霞ヶ浦湖畔でのサイクルーズ（サイクリング・遊覧船）＆BBQを実施しました。20キロ近く走るのは大変でしたがの湖畔の風を感じながらのサイクリングは気持ちよかったです。よろしければ皆さんも体験してみてください。

また、研修会は県社協の酒葉さんを招いてeスポーツ体験会を行いました。介護予防や健康増進に繋がり、サロン事業や高齢者クラブなどに活用すれば事業の幅の広がりを感じ参加した会員からはとても好評でした。良い研修会でした♪

今年度も交流会や研修会を通して、支部活動の繋がりを大切にしたいと思います。

